

ボストン音楽院教授による ランチタイムコンサート&マスタークラス

日時：2017年11月13日（月）

12：15～13：00 ランチタイムコンサート

13：30～15：00 マスタークラス

場所：名古屋音楽大学 博聞館4F めいおんホール

マスタークラス受講生：

野尻恵万(Vn)

サラサーテ/ツィゴイネルワイゼン

笥悠里(Vn)、丸山哲哉(Hr)、植田結衣(Pf)

ブラムス/ヴァイオリン、ホルン、ピアノの為の三重奏曲

岩田集樹(CI)

ルトスワフスキー/ダンスプレリュード



料金：無料/申込不要（一般の方も聴講可）

その他：マスタークラスを聴講する管・弦の専攻生は公欠になります。

マーカス・プラッチ（ボストン音楽院 ヴァイオリン教授）

イタリア出身。これまでサンクトペテルブルクのグレート・フィルハーモニック・ホール、マドリードのテアトロ・モニュメンタル、バーデン＝バーデンのクアザールなど、各地でソロコンサートを行う。13歳にてボローニャ交響楽団とのソロデビューをはたして以来、バルセロナ交響楽団、スペイン放送交響楽団、バーデン＝バーデン・フィルハーモニー管弦楽団、など多数のオーケストラと共演を果たす。第26回ヴィットリオ・ヴェネト国際コンクールにて優勝、ブラムス・プライズ、ジュールス・ライナー・ヴァイオリン・プライズなど受賞歴・表彰歴多数。日本においても、これまでヴァイオリニストの澤和樹氏と各地で共演、2016年には東京藝術大学奏楽堂にて行われた特別講演会において、ヨーヨー・マ氏と共演する。2008年より、ボストン音楽院のヴァイオリン科教授として後進の指導にあたるほか、同音楽院室内楽コンサートシリーズの芸術監督として、これまでに多くのコンサートをプロデュースしている。2017年には同シリーズにてヴァイオリニストのギル・シャム氏と共演、好評を博す。

マイケル・ノースウォーシー（ボストン音楽院 木管楽器科主任 クラリネット教授 及び現代音楽演奏科教授）

アメリカ合衆国出身。ソリスト及び室内楽奏者として、卓越した技術と究極な音楽表現を探求する演奏は、世界中の評論家や聴衆から称讃されている。また、現代音楽演奏の第一人者として、ピエール・ブーレーズ、エリオット・カーターなどの多くの作曲家と共に、150以上の新曲作品の発表を手掛けている。カーネギーホール、ウィーン・ムジークフェラインなどで演奏、またカザルス・フェスティバル、アスペン・ミュージック・フェスティバルなどの主要な音楽祭に出演。Albany、BMOP/サウンド、Cantaloupe、Cirrus Music、ECMなどのレーベルよりCDがリリースされている。ミシガン州立大学、南イリノイ大学カーボンデル、及びニューイングランド音楽院で学び、エリザ・ルートヴィヒ＝ヴェルダ、エリック・マンダット、カルメン・オッパーマン、リチャード・ストルツマンの各氏に師事。ボストン・モダン・オーケストラ・プロジェクト主席、ボストン音楽院木管楽器科主任、クラリネット教授及び、現代音楽演奏科教授。パリ・セルマー社、バンドーレン社のアーティストティック・アドバイザー。

荻野 陽子 (Pf.)

東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。ボストン音楽院にて奨学生としてマイケル・ルーウィン氏に学ぶ。日本モーツァルトコンクール最高位。ピアノを佐野翠、故田辺緑、渡辺健二、ヴィクター・ローゼンバウム各氏に師事。ソリスト及び室内楽奏者として活躍。ボストンを拠点とした現代音楽シンフォニエッタ” sound icon”メンバー。日本でも「ムジカ・ヴィッツ」メンバーとして多くの室内楽を演奏している。

【名古屋駅から名古屋音楽大学への交通アクセス】

- ①バスでお越しの場合：バス停「笹島町」から市バス栄24号系統「稲西車庫」行きで15分、「鴨付町」下車すぐ。
- ②地下鉄+バスでお越しの場合：地下鉄東山線「高畑」行きで7分、「中村公園」下車。
中村公園バスターミナルから市バス中村13号系統「稲西車庫」行きで5分、「鴨付町」下車すぐ。

※駐車場はございませんので公共交通機関でお越しください。

問合せ先：名古屋音楽大学 学務課 052-411-1116 橋本 眞介（はしもと しんすけ）

ボストン音楽院教授による

Lunchtime CONCERT

BOSTON CONSERVATORY at Berklee

11/13(mon) 12:15~13:00 めいおんホール

L.バーンスタイン:クラリネットソナタ

J.ブラームス:ヴァイオリンソナタ 二短調 作品108

D.ミヨー:クラリネット、ヴァイオリンとピアノの為の組曲 作品157b

※コンサート終了後、マスタークラスを開催致します。(13:30~15:00予定)

マーカス・プラッチ ボストン音楽院 ヴァイオリン教授

イタリア出身。これまでサンクトペテルブルクのグレート・フィルハーモニック・ホール、マドリードのテアトロ・モニュメンタル、バーデン=バーデンのクアザール、ミラノのダル・ヴェルメ劇場、ワシントンのケネディー・センター、プリンストンのリチャードソン・オーディトリウムなど、ヨーロッパ各地やアメリカ合衆国にてソロコンサートを行う。13歳にてボローニャ交響楽団とのソロデビューをはたして以来、バルセロナ交響楽団、スペイン放送交響楽団、バーデン=バーデン・フィルハーモニー管弦楽団、ポメリッジ・ムジカーリ・オーケストラ、ナポリ交響楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団など多数のオーケストラと共演を果たす。第26回ヴィットリオ・ヴェネト国際コンクールにて優勝、ブラームス・プライズ、ジュールス・ライナー・ヴァイオリン・プライズなど受賞歴・表彰歴多数。日本においても、これまでヴァイオリニストの澤和樹氏と各地で共演、2016年には東京藝術大学奏楽堂にて行われた特別講演会『芸術と科学に共通するバックグラウンドとは何か?』において、ヨーヨー・マ氏と共演する。

2008年より、ボストン音楽院のヴァイオリン科教授として後進の指導にあたるほか、同音楽院室内楽コンサートシリーズの芸術監督として、これまでに多くのコンサートをプロデュースしている。2017年には同シリーズにてヴァイオリニストのギル・シャム氏と共演、好評を博す。



マイケル・ノースウォーシー ボストン音楽院 木管楽器科主任 クラリネット教授 及び現代音楽演奏科教授

アメリカ合衆国出身。ソリスト及び室内楽奏者として、卓越した技術と究極な音楽表現を追求する演奏は、世界中の評論家や聴衆から称讃されている。また、現代音楽演奏の第一人者として、ビエール・ブーレーズ、エリオット・カーター、ヘルムート・ラッヘマン、ルーカス・フォス、トリス・タン・ミュライユ、ウォルフガング・リムなどの多くの作曲家と共に、150以上の新曲作品の発表を手掛けている。カーネギーホール、ウィーン・ムジークフェライン、モスクワのチャイコフスキー・ホール、ワシントン・リンカーンセンター、ニューヨーク・メルキン・ホールなどで演奏、またカザルス・フェスティバル、アスペン・ミュージック・フェスティバルなどの主要な音楽祭に出演。Albany、BMOP/サウンド、Cantaloupe、Cirrus Music、ECM、Gasparo、Mode、Navona、NewWorld、New Focusの各レーベルよりCDがリリースされている。ミシガン州立大学、南イリノイ大学カーボンデル、及びニューイングランド音楽院で学び、エリザ・ルートヴィヒヒ=ヴェルダー、エリック・マンダット、カルメン・オッパマン、リチャード・ストルツマンの各氏に師事。

ボストン・モダン・オーケストラ・プロジェクト主席、ボストン音楽院木管楽器科主任、クラリネット教授及び、現代音楽演奏科教授。パリ・セルマー社、バンドーレン社のアーティストティック・アドヴァイザー。

荻野 陽子 (Pf.)

東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。ボストン音楽院にて奨学生としてマイケル・ルーウィン氏に学ぶ。日本モーツァルトコンクール最高位。ピアノを佐野翠、故田辺緑、渡辺健二、ヴィクター・ローゼンバウムの各氏に師事。ソリスト及び室内楽奏者として活躍。ボストンを拠点とした現代音楽シンフォニエッタ"sound icon"メンバー。日本でも「ムジカ・ヴィッツ」メンバーとして多くの室内楽を演奏している。

【お問い合わせ】

名古屋音楽大学 演奏部

☎052-411-1593(平日 9:00 ~ 17:00)

【住所】名古屋市中村区稲葉地町 7-1

【アクセス】JR名古屋駅から

バス停「笹島町」から市バス栄 24 号系統「稲西車庫」行きで 15 分、「鴨付町」下車すぐ。

笹島町 (東)【かに本家前】

笹島町 (西)【中村警察署道路を挟んで前の 4 番乗り場】

地下鉄東山線「高畑」行きで 7 分、「中村公園」下車。

中村公園バスターミナルから市バス中村 13 号系統「稲西車庫」行きで 5 分、「鴨付町」下車すぐ。